

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公表番号】特表 2005-523083 (P2005-523083A)
【公表日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)
【年通号数】公開・登録公報 2005-030
【出願番号】特願 2003-585787 (P2003-585787)
【国際特許分類】

A 6 1 M 15/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 20 日 (2006.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基部板により閉鎖された基部端、チャンバの前記基部端上で接線方向に位置合わせした入り口、先細先端部、および前記基部板を通して前記チャンバ内に延在し、前記チャンバと連通する出口を有するチャンバを含む、薬用吸入器スパーサ。

【請求項 2】

前記チャンバが 1 つの入り口および 1 つの出口のみを有する、請求項 1 に記載のスパーサ。

【請求項 3】

前記出口が前記入り口開口部の底部より低いレベルまで前記チャンバ内に延在する、請求項 1 又は 2 に記載のスパーサ。

【請求項 4】

エーロゾル発生システムと、
請求項 1 又は 2 に記載の薬用吸入器スパーサと、
マウスピースと
を含む薬用エーロゾル吸入器であって、
前記スパーサの前記入り口が、前記エーロゾル発生システムと流体連通し、前記スパーサの前記出口が、前記マウスピースと流体連通し、そこでは前記エーロゾル発生システムによって生成された前記エーロゾルが前記入り口を経て前記チャンバ中に入る、薬用エーロゾル吸入器。

【請求項 5】

前記エーロゾル発生システムが加圧エーロゾルキャニスタを含む、請求項 4 に記載の薬用吸入器。

【請求項 6】

前記エーロゾル発生システムが乾燥粉末発生システムを含む、請求項 4 に記載の薬用吸入器。

【請求項 7】

前記エーロゾル発生システムが噴霧システムを含む、請求項 4 に記載の薬用吸入器。

【請求項 8】

エーロゾル発生システムと、
先細先端部と、前記基部端を通して延在する出口とを備えたサイクロンチャンバと、
マウスピースと、
を含む薬用エーロゾル吸入器であって、
前記サイクロンチャンバの前記入り口が、前記エーロゾル発生システムと流体連通し、
前記サイクロンチャンバの前記出口が、前記マウスピースと流体連通する、薬用エーロゾル吸入器。